



平成30年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成29年10月30日

上場会社名 トランコム株式会社 上場取引所 東 名
 コード番号 9058 URL <http://www.trancom.co.jp/ir/index.html>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 恒川 穰
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 コーポレートサービスグループ担当 (氏名) 川村 晋一 TEL (052) 939-2011
 四半期報告書提出予定日 平成29年11月10日 配当支払開始予定日 平成29年12月4日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 証券アナリスト向け

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第2四半期の連結業績（平成29年4月1日～平成29年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第2四半期	69,411	7.4	2,520	2.4	2,494	5.1	1,500	△28.8
29年3月期第2四半期	64,630	4.5	2,460	△8.7	2,373	△11.5	2,108	35.7

(注) 包括利益 30年3月期第2四半期 1,547百万円 (△10.3%) 29年3月期第2四半期 1,725百万円 (14.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第2四半期	154.49	154.06
29年3月期第2四半期	217.16	216.55

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期第2四半期	45,787	28,762	62.2	2,933.01
29年3月期	44,700	27,591	61.1	2,811.75

(参考) 自己資本 30年3月期第2四半期 28,482百万円 29年3月期 27,300百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	39.00	—	39.00	78.00
30年3月期	—	40.00	—	—	—
30年3月期(予想)	—	—	—	40.00	80.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	144,000	8.0	6,270	10.4	6,200	11.8	3,950	6.5	406.77

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ー社 （社名）ー、除外 ー社 （社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年3月期2Q	10,324,150株	29年3月期	10,324,150株
② 期末自己株式数	30年3月期2Q	613,143株	29年3月期	614,564株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年3月期2Q	9,710,284株	29年3月期2Q	9,708,097株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見直し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 4「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

※ 自己株式に関する情報

当社は、従業員株式所有制度に基づく「株式給付信託（J-E S O P）」及び取締役等に対する株式報酬制度として「株式給付信託（B B T）」が所有する当社株式を四半期連結財務諸表において自己株式として計上しております。したがって、1株当たり四半期純利益又は潜在株式調整後1株当たり四半期純利益、及び1株当たり純資産を算定するための期末の普通株式及び普通株式の期中平均株式数について、「株式給付信託（J-E S O P）」及び「株式給付信託（B B T）」が所有する当社株式を控除しております。なお、平成29年9月30日現在において、「株式給付信託（J-E S O P）」及び「株式給付信託（B B T）」が所有する自己株式はそれぞれ27,900株及び20,900株であります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

物流業界では、EC市場の拡大による消費者の購買スタイルの変化に伴い、貨物の小口化、多頻度化が進み、輸配送ニーズが多様化するなど、物流構造が大きく変化してきております。そのような中で、一層深刻化するトラックドライバー不足、庫内作業員の人件費の上昇など、大きな社会問題に直面し、物流事業者にとっては大変厳しい事業環境となりました。

このような状況の中、当第2四半期連結累計期間におきましては、トランコムグループ中期経営計画「TRANCOM VISION 2020」のもと、各事業がそれぞれ質の高い機能を果たし、その競争力のある事業が有機的に結合することで、高いシナジーを創出するべく、取り組みを推進いたしました。グループの最大の強みである物流情報サービス事業は、好調な業績を維持し、ロジスティクスマネジメント事業・インダストリアルサポート事業は、前年下半期以降事業の再構築を進めたことにより、収益は回復いたしました。平成29年3月に稼動したタイ王国における物流業務は、開始以降大きな混乱となりましたが、安定稼動に向け、グループ一丸となって取り組んだことにより、早期に安定稼動運営をすることができました。

当第2四半期連結累計期間における連結業績は、売上高69,411百万円（前年同期比7.4%増）、営業利益2,520百万円（同2.4%増）、経常利益2,494百万円（同5.1%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益1,500百万円（同28.8%減）となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益の前年同期比減少の要因は、前第2四半期連結累計期間に特別利益に計上した段階取得に係る差益595百万円によるものであります。

当社グループでは、事業内容を3つのセグメント及びその他に区分しております。セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

① ロジスティクスマネジメント事業

	前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間	対前年同四半期 増減額	対前年同四半期 増減率
	百万円	百万円	百万円	%
売上高	23,186	22,973	△213	△0.9
セグメント利益（営業利益）	1,211	1,240	29	2.4

売上高は、前期新規拠点及び当期新規業務の稼動に伴う増収要因はあったものの、前期における一部拠点の業務縮小・撤退の影響により、減収となりました。

営業利益は、当期新規業務の稼動に伴う初期費用の計上はありましたが、前期に稼動した拠点の収益化に加え、前期における生産性悪化拠点の収益回復により、増益となりました。

② 物流情報サービス事業

	前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間	対前年同四半期 増減額	対前年同四半期 増減率
	百万円	百万円	百万円	%
売上高	35,458	38,568	3,109	8.8
セグメント利益（営業利益）	1,200	1,477	277	23.1

アジャスターの営業力を結束した貨物情報取得に加え、分析ツールを駆使したアプローチなどにより、チャーター部門・中ロット部門ともに、成約件数は順調に推移しました。また、人員の増強を図り、更なる事業成長に向けた取り組みを推進しました。これらの結果、増収増益となりました。

③ インダストリアルサポート事業

	前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間	対前年同四半期 増減額	対前年同四半期 増減率
	百万円	百万円	百万円	%
売上高	4,004	4,165	161	4.0
セグメント利益（営業利益）	29	39	10	34.6

売上高は、国内既存顧客の減産影響による減収減益要因はありましたが、国内派遣部門の新規顧客の獲得により増員が図られ、増収増益となりました。

④ その他

	前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間	対前年同四半期 増減額	対前年同四半期 増減率
	百万円	百万円	百万円	%
売上高	2,647	4,452	1,805	68.2
セグメント利益又は損失(△) (営業利益又は損失(△))	113	△142	△255	—

その他事業につきましては、Transfreight China Logistics Ltd.の連結子会社化に加え、タイでの物流業務稼働により、大幅に増収しましたが、タイでの物流業務の初期費用が想定以上にかかり、営業利益は減益となりました。

(注)上記の数値は、セグメント間取引の消去はしていません。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の前連結会計年度末との比較情報は次のとおりであります。

イ. 資産

流動資産は、期末日銀行休日に伴い受取手形及び売掛金が721百万円増加したことなどにより、1,226百万円増加し31,100百万円となりました。

固定資産は、投資その他の資産が165百万円増加した一方、減価償却などにより、有形固定資産が144百万円、無形固定資産が161百万円、それぞれ減少したことにより、140百万円減少し14,686百万円となりました。これらにより資産合計は、1,086百万円増加し45,787百万円となりました。

ロ. 負債

流動負債は、買掛金が606百万円減少したことなどにより、51百万円減少し14,179百万円となりました。

固定負債は、34百万円減少し2,845百万円となりました。これらにより負債合計は、85百万円減少し17,024百万円となりました。

ハ. 純資産

純資産は、利益剰余金が1,119百万円増加したことなどにより、1,171百万円増加し28,762百万円となり、自己資本比率は62.2%となりました。

②キャッシュ・フローの状況の分析

当第2四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物（以下「現金」という）は、前連結会計年度末に比べ141百万円増加し8,390百万円となりました。

イ. 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益2,387百万円及び減価償却費783百万円等の資金の増加、売上債権の増加額729百万円、仕入債務の減少額598百万円及び法人税等の支払額955百万円等の資金の減少により、1,248百万円の収入（前年同四半期は2,001百万円の収入）となりました。

ロ. 投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得による支出378百万円、無形固定資産の取得による支出230百万円などにより、616百万円の支出（前年同四半期は1,789百万円の支出）となりました。

ハ. 財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動によるキャッシュ・フローは、配当金の支払額380百万円等により、502百万円の支出（前年同四半期は1,983百万円の支出）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年3月期の連結業績予想につきましては、売上高、営業利益及び経常利益、並びに親会社株主に帰属する当期純利益の数値を修正しております。この修正に伴う各セグメントの業績予想は次のとおりであります。

トランコムグループの連結業績予想

(単位：百万円)

	平成29年3月期	平成30年3月期	対前期増減額	対前期増減率
売上高	133,313	144,000	10,686	8.0
営業利益	5,681	6,270	588	10.4
経常利益	5,543	6,200	656	11.8
親会社株主に帰属する当期純利益	3,708	3,950	241	6.5

事業セグメント別の業績予想

(単位：百万円)

		平成29年3月期	平成30年3月期	対前期増減額	対前期増減率
ロジスティクス マネジメント事業	売上高	46,822	46,830	7	0.0
	営業利益	2,705	3,000	294	10.9
物流情報サービス 事業	売上高	72,972	78,900	5,927	8.1
	営業利益	2,872	3,170	297	10.4
インダストリアル サポート事業	売上高	8,579	10,370	1,790	20.9
	営業利益	134	300	165	123.1
その他	売上高	6,486	9,380	2,893	44.6
	営業利益	196	△20	△216	—
連結消去	売上高	△1,547	△1,480	67	—
	営業利益	△227	△180	47	—
連結合計	売上高	133,313	144,000	10,686	8.0
	営業利益	5,681	6,270	588	10.4

(注) 上記の数値は、セグメント間取引の消去はしていません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,249	8,390
受取手形及び売掛金	20,762	21,484
商品	13	11
仕掛品	1	3
貯蔵品	16	18
前払費用	456	534
繰延税金資産	211	260
その他	165	399
貸倒引当金	△2	△2
流動資産合計	29,873	31,100
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	7,483	7,527
減価償却累計額	△3,983	△4,067
建物及び構築物 (純額)	3,500	3,459
機械装置及び運搬具	4,328	4,422
減価償却累計額	△3,171	△3,285
機械装置及び運搬具 (純額)	1,156	1,137
土地	2,701	2,701
リース資産	2,381	2,327
減価償却累計額	△1,215	△1,225
リース資産 (純額)	1,166	1,102
建設仮勘定	—	1
その他	1,000	967
減価償却累計額	△665	△655
その他 (純額)	334	311
有形固定資産合計	8,859	8,714
無形固定資産		
のれん	617	518
リース資産	11	2
ソフトウェア	1,472	1,529
ソフトウェア仮勘定	175	108
顧客関連資産	605	563
その他	172	170
無形固定資産合計	3,053	2,892
投資その他の資産		
投資有価証券	1,131	1,257
繰延税金資産	452	482
差入保証金	1,182	1,191
その他	169	169
貸倒引当金	△21	△21
投資その他の資産合計	2,914	3,079
固定資産合計	14,827	14,686
資産合計	44,700	45,787

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	10,042	9,436
リース債務	227	222
未払金	302	433
未払費用	1,406	1,779
未払法人税等	864	869
未払消費税等	574	404
賞与引当金	501	552
役員賞与引当金	16	17
その他	293	463
流動負債合計	14,230	14,179
固定負債		
リース債務	1,279	1,220
再評価に係る繰延税金負債	11	11
株式給付引当金	133	152
役員株式給付引当金	67	123
厚生年金基金解散損失引当金	309	309
退職給付に係る負債	113	107
資産除去債務	439	413
その他	524	508
固定負債合計	2,879	2,845
負債合計	17,109	17,024
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,080	1,080
資本剰余金	1,291	1,335
利益剰余金	25,914	27,033
自己株式	△1,015	△1,053
株主資本合計	27,269	28,395
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	71	161
土地再評価差額金	26	26
為替換算調整勘定	△82	△115
退職給付に係る調整累計額	15	14
その他の包括利益累計額合計	31	86
新株予約権	111	111
非支配株主持分	178	168
純資産合計	27,591	28,762
負債純資産合計	44,700	45,787

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
売上高	64,630	69,411
売上原価	60,828	65,617
売上総利益	3,802	3,794
販売費及び一般管理費	1,342	1,274
営業利益	2,460	2,520
営業外収益		
受取利息及び配当金	11	10
その他	14	31
営業外収益合計	25	41
営業外費用		
支払利息	58	57
持分法による投資損失	11	4
寄付金	20	—
その他	21	5
営業外費用合計	112	66
経常利益	2,373	2,494
特別利益		
固定資産売却益	13	6
段階取得に係る差益	595	—
その他	6	—
特別利益合計	615	6
特別損失		
固定資産廃棄損	34	41
会員権評価損	11	—
支払補償費	—	70
その他	0	1
特別損失合計	45	113
税金等調整前四半期純利益	2,943	2,387
法人税、住民税及び事業税	828	1,000
法人税等調整額	△2	△107
法人税等合計	826	893
四半期純利益	2,116	1,494
(内訳)		
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,108	1,500
非支配株主に帰属する四半期純利益又は 非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	8	△5
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△14	90
為替換算調整勘定	△374	△35
退職給付に係る調整額	△2	△1
その他の包括利益合計	△391	52
四半期包括利益	1,725	1,547
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,736	1,555
非支配株主に係る四半期包括利益	△10	△8

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	2,943	2,387
減価償却費	718	783
のれん償却額	95	91
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	2	0
賞与引当金の増減額 (△は減少)	21	50
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△19	1
株式給付引当金の増減額 (△は減少)	23	18
役員株式給付引当金の増減額 (△は減少)	67	56
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△6	△8
受取利息及び受取配当金	△11	△10
持分法による投資損益 (△は益)	11	4
支払利息	58	57
固定資産売却損益 (△は益)	△13	△5
固定資産廃棄損	34	41
段階取得に係る差損益 (△は益)	△595	—
支払補償費	—	70
売上債権の増減額 (△は増加)	342	△729
仕入債務の増減額 (△は減少)	△619	△598
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△175	△169
その他	169	282
小計	3,046	2,321
利息及び配当金の受取額	11	10
利息の支払額	△58	△57
支払補償費の支払額	—	△70
法人税等の支払額	△997	△955
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,001	1,248
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△490	△378
有形固定資産の売却による収入	15	12
無形固定資産の取得による支出	△92	△230
有価証券の取得による支出	△139	—
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△1,063	—
その他	△19	△19
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,789	△616
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△1,500	—
長期借入金の返済による支出	△0	—
自己株式の取得による支出	△68	△56
自己株式の処分による収入	71	62
配当金の支払額	△389	△380
リース債務の返済による支出	△97	△127
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,983	△502
現金及び現金同等物に係る換算差額	△120	10
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△1,891	141
現金及び現金同等物の期首残高	7,708	8,249
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,816	8,390

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連 結損益及 び包括利 益計算書 計上額 (注) 3
	ロジステ イクスマ ネジメン ト事業	物流情報 サービス 事業	インダス トリアル サポート 事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	23,182	35,421	3,807	62,411	2,218	64,630	—	64,630
セグメント間の 内部売上高又は振替高	4	36	197	238	428	666	△666	—
計	23,186	35,458	4,004	62,649	2,647	65,297	△666	64,630
セグメント利益	1,211	1,200	29	2,441	113	2,554	△94	2,460

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、情報システム開発事業及び自動車整備事業等により構成し、一部の海外展開のための本社費用を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△94百万円には、セグメント間取引消去1百万円、のれんの償却額△95百万円が含まれております。

3. セグメント利益は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連 結損益及 び包括利 益計算書 計上額 (注) 3
	ロジステ イクスマ ネジメン ト事業	物流情報 サービス 事業	インダス トリアル サポート 事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	22,972	38,532	3,943	65,447	3,964	69,411	—	69,411
セグメント間の 内部売上高又は振替高	0	36	222	259	488	748	△748	—
計	22,973	38,568	4,165	65,707	4,452	70,160	△748	69,411
セグメント利益 又は損失(△)	1,240	1,477	39	2,758	△142	2,616	△96	2,520

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、海外物流事業及び情報システム開発事業等により構成しております。

2. セグメント利益の調整額△96百万円には、セグメント間取引消去△5百万円、のれんの償却額△91百万円が含まれております。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。